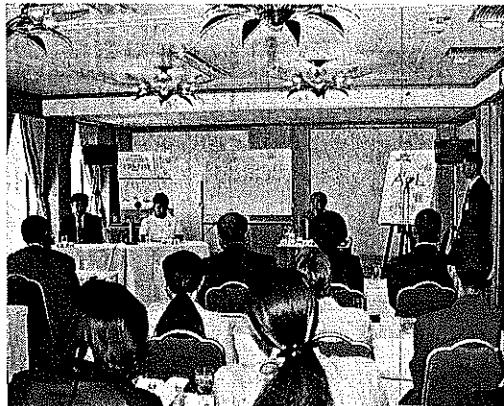


平成12年10月11日



## パリアフリーでセミナー！

### 旅館・ホテル集めて提案

コムスン・トラベル

コムスン・トラベル 様  
塚森一社長 東京支社  
本社 東京都港区は九月二十五日、東

京都新宿区の京王プラザホ  
テルで旅館・ホテル関係者  
を集め「パリアフリー理論  
&実践セミナー」を開いた。

当日はパリアフリーの基  
礎知識をテーマにYMOCA  
国際ホテル・トラベル専門

学校講師の早川俊氏、自  
ら車イス利用者で障害者  
地域作業所・ごぼうハウス  
所長の岡村道夫氏、視覚障  
害者で神奈川県職員の斎藤

勝利氏が参加し、旅館・ホ  
テルへの提案や、具体的な

介助のやり方などをアドバ  
イスした。

その後、京王プラザホテ  
ルについて観光地を歩い

ていた人も、ホテルでは車  
イスを使いたいという要望  
が多い。最近はほとんどの  
組みを解説し、ホテル館内  
のパリアフリールームの見  
学、車イスの試乗体験が行  
われた。

セミナーのなかで、旅行  
会社出身の早川氏は「 entendre 」  
と書いた。その後、車椅子を運

せひ、準備を進めてもらい  
たい」と呼びかけた。

また、車イスを利用して  
いる岡村氏は「トイレと浴  
室は車イスが通れるサイズ

を確保してほしい。とにかく  
トイレは、何センチか広げ

れば出入りできる。ハワイ  
のホテルでは、必ずひとつ

間口の大きなトイレがあ  
る」とリクエストした。さ

らに、旅館・ホテルの対応

について「腫れ物を触るよ

うな過剰な対応はかえつ

て壁をつく。すべてをサ  
ポートするのではなく、自

分ができる範囲のことばや  
ことが大事」とまとめた。

らせでほしい」と話した。  
視覚障害者の斎藤氏は、

力ナタ旅行で外国系航空会

社を利用したときのエビソ

ードを披露し、「このとき

使った航空券は口頭で非

常の場所を説明してくれ

て、わかりやすかった。日

本の航空会社は、機内の

画面を渡すだけ。もっと簡

単で確実な方法があるの

に」と感想を述べた。

最後に、早川氏は「障害

の内容や程度は人によって  
さまざま。対応の仕方も異  
なるので、まず声をかける

ことが大事」とまとめた。

〔 抜粋 〕